

公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター  
平成26年度第6回理事会議事録

1. 開催された日時 平成27年2月26日(木) 10時～11時05分
2. 開催された場所 一宮市三岸節子記念美術館 講義室
3. 理事総数及び定足数  
総数 10名、定足数6名
4. 出席理事数 8名  
(出席) 豊島 半七、丹羽 良隆、中野 正康、渡部 昭、日比野 友治、大野 紀明、  
早川 隆雄、高岡 幸郎  
(欠席) 堀 元、富田 実夫  
(監事出席) 木村 正人
5. 議 題  
決議事項  
議案第1号 理事長選定について  
議案第2号 減価償却引当特定資産に関する規程について  
議案第3号 平成26年度補正予算について  
議案第4号 平成27年度事業計画書・収支予算書・資金調達及び設備投資の見込みについて  
議案第5号 拠出金の取崩しについて

6. 議事の経過及びその結果
  - (1) 議長の職務  
定款第35条により副理事長が議長の職務を代行
  - (2) 定足数の確認等  
事務局より、定足数の充足を確認し本会議の成立を宣した。

7. 決議事項  
議案第1号 理事長選定について  
事務局から、谷一夫理事辞任により、空席となっている理事長の選定について定款第23条により、理事会の決議により理事の中から選定したいとする議案を説明した。  
同議案に対して、議長からその選定方法を諮ったところ、議長の指名に一任したいとの発言があり、一同これを承認したので、議長から下記の者を指名し、この者につきその可否を諮ったところ、出席理事全員の賛成をもって、可決確定した。  
理事長 中野 正康  
なお、被選任者は、席上その就任を承諾し、定款第35条により議長を交代した。

議案第2号 減価償却引当特定資産に関する規程について  
事務局から公益法人改革による新会計基準により、減価償却費を特定資産として24年度分、25年度分及び26年度分相当分を積立する必要性と、その規程案について詳細に説明した。  
審議の結果、原案どおり出席理事全員一致で可決した。

議案第3号 平成26年度補正予算について  
事務局から補正予算書案について説明した。  
収支補正予算内訳書は、損益ベースかつ公益、収益、法人の事業部別に区分された収支予算数値が記載された表であり、各事業に共通する経費は一定の基準で配賦された数字であるとした。

また、補足資料を用いて3P2A事業を中心に詳細に説明した。

同議案に対して

(大野理事) 補正が今になって出てくるが、事業が既に済んでいることから、理事会開催が日程の都合で難しいのであれば、理事長一任する方法も一考してはどうか。

(事務局) 全国の公益財団法人の状況を踏まえて検討する。

(理事長) 既に費用として使っている点についてはどうか

(事務局) キャッシュフローとして一般財源的に資金を持っている。人材育成基金振替の承認を理事会でお願いしている。

(渡部理事) ショーは非常に良かった。費用の内訳はどうか。

(事務局) 主なものとしてはショー関連 1500万、過去の作品の展示費用が 1100万です。

(日比野理事) 相当額の補正だが、予定が無かった事業が入ってきたのか。

(事務局) 当初は予定が無かったが、昨年の理事会や評議員会で、学生や一般の人に大勢来てもらうにはファッションショーが一番良いとの意見があり、それを踏まえて、アンリアルエイジ、翔工房、名古屋モード学園のショーの開催を行うこととし、その費用が増えてきたものである。

(日比野理事) 若者を育てることは大事であり今後も続けて欲しい。

(理事長) 新年度からは補正の方法のやり方を考える。

審議の結果、原案どおり出席理事全員一致で可決した。

議案第4号 平成27年度事業計画書・収支予算書・資金調達及び設備投資の見込みについて

① 平成27年度事業計画書について、丹羽専務理事から説明した。

同議案に対して

(早川理事) ミラノウニカ展も良いが、今後の需要の開拓先として中国、アジア地域を考えてはどうか。

(事務局) 国の方針を踏まえ三年間はミラノウニカに継続して出展していく。その後中国、アジア地域は中期的には考えたい

② 収支予算書について、事務局から説明した。

収支予算書(正味財産増減計算ベース)は、3P2A事業を継続していくとし、内容については補足資料を用いて詳細に説明した。

③ 資金調達及び設備投資の見込みについて

事務局からいずれも予定がないことを説明した。

同議案に対して、

(大野理事) 運営費負担金の各市町一覧を資料として補足資料に書いてほしい。

(事務局) 補足資料の空白に記入して送付します。

(高岡理事) ①パーソン事業費について来年度はどう考えているのか②予算書の一般正味財産と指定正味財産の期首、期末の金額について、指定正味財産の金額は補正予算の金額と思われるだが、一般正味財産の金額はどこから持ってきたか。

(事務局) ①について、ファッションショーについては今年度のような大きなものは現在では考えていない。

(高岡理事) 具体化した場合どのような形で決めるのか。

(事務局) 理事会を開催し承認を得るようにする。補正の形にする。

(理事長) 来年のJY&総合展はどうなるのか。理事会を開くのか。

(事務局) 事務局でたたき台を作成して進めて行く。

(事務局) ②について、他の公益財団法人の決算書を参考として、一般正味財産の期首は25年

度の決算数字とした。しかし、指定正味財産の期首は補正予算書の数字を持ってきており整合性に欠ける点がある。税理士に相談するなどして確認してみる。  
審議の結果、原案どおり出席理事全員一致で可決した。

議案第5号 拠出金の取崩しについて

事務局から、拠出金の内容について、一般社団法人ジョイント・尾州ブランド設立時に拠出した20万円で、同法人の昨年6月の解散により返還されたことによるものであり、取崩しをして、事業運用資金に振替える旨を説明した。  
審議の結果、原案どおり出席理事全員一致で可決した。

8. その他

定款に基づき議事録署名を出席した中野理事長、木村監事とした。

以上をもって議案の審議等を終了したので、11時05分、議長は閉会を宣し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議事録署名人は記名押印する。

平成27年3月13日

理事長

中野正康

監事

木村正人